

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [浜松学院中学校] 担当教諭名 [鈴木 翔大・大石 彩乃・マイケル カトラ] (1年A組 24名)

相手国・地域 [キルギス]

海外学校名 [Education Center for Children] 担当教諭名 [山下 愛(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	キルギス共和国とつながろう	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	兄弟
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	キルギスにある「日本人とキルギス人は元々は兄弟で、魚を求めた日本人は海へ、肉を求めたキルギス人は山へ行った」という説を表し、両国の友好を絵で表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に目を向けることができた。 日常生活ではなかなか目を向けることのない「キルギス共和国」を知り、文化などの知識を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送のトラブルがあり意図とは違う状況が起きてしまったこと。 もう少しスカイプ中継の回数を増やすことで、生徒に身近に感じさせることもできたと感じる。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 「キルギス」という国を知ることができ、世界に目を向けるようになった。 他国の友だちを作りたい、またはもっと交流をしたいという想いが強くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 想定以上のポジティブな反応を生徒が示しており、英語学習と絡めるなど、総合的な学習を越えた展開をしたいと思うようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介カードの作成 挨拶動画 スカイプ中継 *動画とスカイプでの自己紹介に関しては自己紹介カードが届かなかったため、改めて動画とスカイプにて自己紹介をすることにした。	積極的に取り組もうと言う様子が見られた。キルギス語を用いて自己紹介カードを作成する生徒もいた。	総合
共有 テーマ学習	6月 7月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化の調べ学習 キルギス講座①(相手国について知るためのワークショップ) キルギス講座②(JICA 中部なごや地球ひろばの訪問プログラム) 	日本文化において、新たに発見することもあった。また、相手に伝えることを意識し、どのようにしたらうまく伝わるか考える様子があった。キルギス講座に関しては「肯定的な出会い」を意識したためか、かなり意欲的に取り組んだ。	総合
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	グループディスカッション	テーマ設定後、グループごとにデザイン案を出し、プロジェクトリーダーを募って案をもとにしたデザイン設計をしたが、プロジェクトリーダーにクラスの半数もの生徒が立候補した。	総合
創造 壁画制作	12月	グループワーク	デザインをもとにグループリーダーが壁画に下書きを描き、その後グループごとに担当時間をもとに、色塗りを行った。	総合
評価 振り返り 自己評価	3月	ふり返しシート	各自の記入となったが、生徒たちは今年度の学びを振り返ることができた。	総合

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	生徒から、写真や実物を用いて発表したいと言いついたとき。(自文化はなかなか言葉では説明しづらいと思うから)
異文化の理解	A	5	相手の文化など、特徴の違いに気付いたことと、それも肯定的な言葉が多く聞かれたとき
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	4	「自文化の理解」でも書いた発表方法の場面や、特に指示もない中でキルギス語を使ったりしたとき。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	4	本校はICT環境に恵まれていないが、図書館の本を使って適格に収集していたから
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	4	グループワークを円滑に行うことができたから。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	大きな役割に関しても自ら進んで取り組もうという態度が、かなり多く見られたから。
学習を追究する意欲	B	4	想定以上の取り組みがあったから
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	言葉で表すことがなかなかできず、字で表すものに関してはアドバイスを加えた部分があるから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	自己評価に関して、「良い」「悪い」で評価しており、次に進むようなことは引き出さないとなかなか出なかったから